

◆ ギターの指板上の度数(インターバル)位置関係



上の指板図は任意の指板上の音名と位置を合わせて、その音名の○度がどこにあるかを確認するためのものです。

例えば6弦のA音に対しての6度の位置を探す場合、指板図で6弦上にあるRを6弦A音=5フレットだと考えれば、4弦4フレットや2弦の7フレットなどに6度の音があることがわかります。

5弦のA音に対しての6度の位置を探す場合は、指板図で5弦上にあるRを5弦A音=0フレット(開放音:ナット)だと考えて探すというわけです。

ディミニッシュ・スケールの度数をこの表で見ると、 $b^b7=6$ 、 $b^b8=7$ と考えてください。